

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家族の訪問時に、見て戴けるようリビングに掲示している。	全ての職員が、理念にかかげている事を常に意識しながら、毎日のケアに生かせるよう努めたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に職員一同で理念を読み、実践に向け取り組んでいる。	全ての職員が、理念に添ったケアができるよう、毎日の業務を充実させていきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念は、家族様や地域の方の訪問時に観覧出来るようにしている。	訪問された方に見ていただき、当施設の理念として理解をしていただく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	顔を合わせた時には、必ずあいさつをするように心がけている。	隣近所とのつきあいを、職員全員で意識し、笑顔であいさつをしていきたい、又気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気作りをしたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入れてもらい、行事などに参加させてもらっている。	今後もしできる限り、積極的に行事などに参加していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組めていない。	○	今後、事業所の力を生かした地域貢献ができるよう、話し合い、取組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	約3年、外部評価をうけていない。		必ず年1回外部評価をうけ、指摘された点を改善できるように努めたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加人数は少ないが、様々な意見や助言をいただいている。ただサービスの向上に十分繋がっているとは言えない		できるだけ多くの方の参加をいただき、サービス向上に生かしていけるよう努めたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	取り組めていない。	○	今後は、市町村と連携を密にとり、サービスの質の向上に取り組みたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	取り組めていない。	○	できる限り早く学ぶ機会を設け、理解に努めたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日々のケアの中で、不適切な介護が見過ごされることが無いよう注意を払っている。		虐待について、定期的に勉強する。機会を設け、職員全員に周知徹底させたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約について、利用者や家族等に十分な理解と納得をして戴けるよう、説明している。		今後も十分な説明を行い、理解・納得して戴けるよう心がけていく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情等が出た場合は、管理者、介護リーダーを中心に速やかに対応している。		管理者を中心に、職員で会議を開き、利用者に納得して戴けるケアに取り組みたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の家族等の訪問時に、暮らしぶりや健康状態の報告を行なっている。 変化があれば訪問時にかかわらず報告している。		今後も継続して行なっていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口及び意見箱を設置している。		意見、不満、苦情が出た場合は、すぐに会議を開き、解決するよう取組んでいく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフミーティングを開き、意見や提案を聞いている。 必要に応じて個人面談も行なっている。		職員の意見を参考にしながら、運営に反映させている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	様々な状況に対応できる体制を取っている。		利用者や家族の要望に柔軟に対応できるよう、必要な時間帯に職員の確保や勤務の調整に努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動はほとんど行っていない。 離職がないよう職員の相談事などを聞くように努めている。		相談を受けた際は、離職などに繋がらないよう、早期解決を図っている。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画まではたてていなが、段階に応じての研修に参加しやすい状況を作るように努める。	○	法人外研修の情報は職員全員に伝達し、できるだけ受け取ってもらえるように努めている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に入り、会議や交流会に参加している。		今後もグループホームの管理者の集まりや、勉強会があれば参加していきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスが軽減できるように取り組んでいる。		定期的な個別面談を行なうなど、常に声をかけストレスの軽減を図っている。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員それぞれの状況を掴み、向上心を持続できるよう努めている。		職員個々の努力や実績、勤務状況を掴み、更なる向上心につなげていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常に利用者の話を聴く機会を作り、信頼関係が築けるように心がけている。	今後も利用者と話し合える機会をつくり、不安等を受け止められるよう努めたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族等と積極的に話し合いができるように努めている。	気軽に何でも相談しやすい雰囲気作りに努めている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者のアセスメントを行い、その時必要な支援を見極めるよう努めている。	職員の意見を聴きながら、利用者にとってより良いケアができるように努めたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族と十分な相談を行い、場の雰囲気に馴染めるように配慮している。	職員間で利用者の情報を共有し、早く場の雰囲気に慣れてもらえるように努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する側、される側という関係ではなく、共に生活し支え合う関係作りに努めている。	今後も利用者一人一人の心に寄り添い、家族のように支え合う関係作りに努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族と共に利用者を支えていくよう努めている。		家族とのコミュニケーションを深め何でも話し合える関係を築きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者との関係の理解に努め支援している。		利用者とその家族を、すべての職員で支援できるような関係作りに努めたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者本人の気持ちを一番に大切にし、できるだけ関係が途切れないよう努めている。		すべての職員が、利用者の背景や心情を十分に理解し、周りとの関係を続けていけるように努めたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人一人の性格や個性を把握し、孤立しないように努めている。		利用者一人一人の気持ちを大切にし、関わり合いが持てるように努めたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	できるだけ、関係を断ち切らないように努めている。		今後も関係が途切れないよう努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は常に利用者の声を聴き、一人一人の思いやり、意向を掴もうとしている。	感情や言葉の表現がうまくできない利用者に対しては、特に声掛け傾聴しコミュニケーションを取っていききたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に確認すると共に、日頃の話合いから把握するように努めている。	日常の会話から、話を引き出すと共に、家族等からも話を聴くように努めたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	すべての職員が、利用者一人一人の観察をしっかり行い、把握できるよう努めている。	有する力等の現状を把握し、利用者一人一人に合った支援をしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者からの意見は少ないが、家族や主治医等の意見を聞きながら介護計画を作成している。	家族・関係者だけでなく、もっと利用者の意向も取り入れたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した介護計画を作成している。	できるだけ、利用者本人の意向も聞きながら作成したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカンファレンスを開き、日々の利用者の様子を話し合い、職員の意見や気づきを参考に介護計画を見直している。		できるだけ多くの職員と情報を共有し、意見を出し合いながら介護計画を見直していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や利用者本人の要望をできる限り聞き、柔軟に対応できるよう努めている。		家族や利用者本人の状況、要望に対し柔軟な対応を続けていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、警察、消防等との協力体制が、まだ不十分である。	○	地域資源との協力体制に努めたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の事業所とは連絡をとり、話し合いはできているが、支援には至っていない。	○	地域の事業所と話し合い、支援体制を整えていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただいております、その際、助言をいただいております。		運営推進会議の場以外にでも、幅広く助言をいただいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と密接な連携をとっている。		定期的かつ適切な、医療を受けられる体制が整っている。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	職員は相談することができている。		利用者一人一人の認知症状の変化を把握し、速やかに対応できるように支援していきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療機関と相談し、看護職員と協力が出来るように努める。	○	医療機関・看護職員と相談し、支援ができるように努める。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者の入院中の様子を掴み、早期退院に向けての連携を行なっている。		医師や看護師と情報交換を行い、早期退院できるよう努めている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の方や医師との話し合いの中で、終末期の支援が行なえるよう努める。	○	全ての職員で方針を共有し、支援できるよう努めたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期のあり方については、事例は無く、終末期前の段階でホームとしても、どこまで対応できるか検討をしなければならないと考えている。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>環境を変えることは、認知症の方に大きなダメージを与えると考え、これまでの健康状態や精神状態、嗜好等を細かく情報交換を行なうように努めている。</p>		<p>入居者一人一人の健康状態や精神状態、嗜好等を細かく把握し、住み替え時のダメージを防ぐ事に努めたい。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>全ての職員に、プライバシーの確保を十分に気をつけるよう指導している。</p>		<p>今後も、言葉かけ、対応等に十分気をつけながら支援できるよう徹底していきたい。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>利用者本人の希望を引き出し、その希望に添った生活ができるように努めている。</p>		<p>利用者一人一人の希望や要望に合わせた暮らしができるように支援したい。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>できるだけ、希望に添いながら、その人らしく暮らしていただけるよう努めている。</p>		<p>全ての職員が、利用者中心との思いで支援できるように努めたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>美容師の資格をもっている職員によって散髪を行なっている。 又、美容院等に行きたいと希望された時は行けるよう支援している。</p>		<p>言葉や表現がうまくできない利用者には特に、本人の意向を聞きながら支援していきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>日頃の会話の中で、利用者の好みの食事を引き出し、メニューに取り入れている。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>今後も一人一人の状況にあわせた支援をしていきたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>一人一人の状況に合わせて、紙パンツから布パンツへの変更など行なっている</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>本人の好みの湯温を把握し、又ゆず湯・菖蒲湯など季節に応じてお風呂を楽しんでいただいている。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>今後も、その時の状況に合った休息、安眠を支援していく。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>今後も、役割や楽しみごとを見つけ支援していきたい。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者一人一人の希望や力に合ったお金の所持、使うところへの支援を行なっている。		今後も、希望に合わせてお金の所持や使うところへの支援を継続したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	できるだけ希望に添えるよう支援している。		外出や散歩に行く利用者が一部だけになりがちなので、他の利用者も外出できるように配慮したい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	全ての利用者への対応はできていないが、できる限り外出の機会を作り支援している。		“ビールを飲みに行きたい”と希望のあった方とは、個別に居酒屋へ行き喜んでいただいた。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者本人からの希望があれば、積極的に支援している。		今後も、支援を続けていく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問していただけるように、挨拶やコミュニケーションを大切にしている。		職員に笑顔で挨拶を行なうことを徹底し、居心地よく過ごしていただけるように努めている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議などで、身体拘束をしないよう職員で話し合いながら支援している。		勉強会を開き、全ての職員が、身体拘束をしないよう徹底したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>ほぼ毎日、居室や玄関に鍵をかけずに開放している。</p>	<p>今後できるだけ、鍵をかけずに開放に努めていく。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は、利用者本人のプライバシーに配慮しながら、安全なケアを行なっている。</p>	<p>今後もプライバシーの配慮を欠かさないケアを続けていく。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>危険と判断された物は、利用者本人に納得いただいたうえで職員が預かっている。</p>	<p>一人一人の状況を見ながら危険を防ぐ取り組みを続けていく。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>一人一人の状態について話し合い事故を防ぐケアを行なっている。</p>	<p>転倒など事故が起きた場合は、すぐに報告書を作成し、話し合っ再発防止に努めている。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>全ての職員が初期対応をしっかりとできるまでには至っていない。</p>	<p>○</p> <p>全ての職員が対応できるように、応急手当や初期対応の訓練、勉強会を定期的に行なっていきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は行なっているが、総合的な避難訓練は実施できていない。</p>	<p>○</p> <p>実施に向けて取り組んでいく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	その都度、家族に相談しながら一人一人に応じた生活ができるよう話をしている。		全職員で対応策を話し合い、抑圧感のない暮らしができるよう努めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には、速やかに対応している。		全ての職員が、利用者への観察を欠かさず、速やかに情報を共有し対応できるように努めていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者、リーダー以外はできてないところがある。	○	全ての職員が理解できるよう指導したい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体を動かす働きかけや、水分量等に配慮している。	○	今後も、便秘の予防と対応の為の取り組みを行ないたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実施している。 訪問歯科も利用しながら口腔内の清潔保持に努めている。		今後も、引き続き口腔内の清潔保持に努めていく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を把握し、栄養バランスのよい食事が確保できるように支援している。		今後更に、一人一人の状態や習慣に応じた支援をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	全ての職員に周知できていない。	○	定期的に勉強会を開き、全職員が知識を習得し、予防や対応に努めたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等の衛生管理を行い、新鮮な食材の使用に努めている。		食中毒予防について職員ともっと話し合い、更なる予防に努めたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、季節に合わせて花を植えている。		今後も更に、親しみやすく、安心して出入りできるように工夫していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分が狭い等の問題はあるが、家庭的な雰囲気の中で居心地よく過ごしていただけるよう工夫している。		もっと生活感や季節感を取り入れていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂兼リビングの為、共有空間の中で独りになれるスペースはないが、狭いなりに、ソファを設置するなどして、思い思いに過ごせるように工夫している。		今後も一人一人の居場所作りに配慮していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものや、好みのものを使用しただけのよう、相談している。	利用者が居心地よく過ごせるような工夫を続けていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や温度調節等はこまめにチェックし、調整している。	利用者の状況に応じて行なっていく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全で自立した生活が送れるよう努めている。	今後も安全で自立した生活が送れるよう工夫していく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人一人の出来る事、出来ない事を見極め、混乱や失敗がないように努めている。	今後も混乱や失敗などを防ぎ自立して暮らせるよう支援したい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム前に駐車スペースがある為、天気の良い日は、テーブルを出して皆でお茶を飲むなど楽しめるように努めている。	さらに利用者が楽しみ、活動できる事を考えていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・入居者様の意見や要望を聞きながら、行事計画を立て、出来るだけ外出の機会を作るように取り組んでいる。
- ・日々の食事メニューを入居者様と相談しながら提供している。
- ・ホームが狭いがゆえに、常にコミュニケーションを図ることができ、家庭的で暖かな雰囲気を生んでいる。